

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

丸子地域自治センター

【令和3年度重点目標】

重点目標	人と環境に優しい安全・安心なまちづくりの推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>【上田圏域と松本圏域の主要幹線道路等の整備促進】 (1) 国道254号（荻窪工区・虚空蔵工区・平井）バイパス (2) 荻窪丸子線（バスレーン設置） (3) 上田塩川線 (4) 国道152号バイパス (5) 「道の駅」調査業務委託発注</p> <p>【千曲川・依田川合流地点の河川環境整備】 (1) かわまちづくり事業 造成工事</p> <p>【安全性・利便性向上のための道路整備】 (1) [都市再編]箱畳線道路改良事業 (2) [都市再編]上丸子石井線整備事業 (3) [公安]金井線道路改良事業</p> <p>【地域公共交通の利便性向上に向けた取り組み】 (1) 丸子・武石地区 公共交通再編検討（循環バス：まりんこ号）</p> <p>【資源循環型社会構築に向けた再資源化等の促進】 (1) ごみ分別の徹底と生ごみ減量化施策の啓発 (2) 容器リサイクル法に基づくプラごみの適正分別の周知</p>	<p>【上田圏域と松本圏域の主要幹線道路等の整備促進】 (1) ～ (4) 県事業で実施中であり、早期完成に向けて県と連携をして実施（4月～3月） (5) 候補地、事業規模、コンセプトの決定（4月～3月） 地元住民組織との連携を図る</p> <p>【千曲川・依田川合流地点の河川環境整備】 (1) 工事発注 N=1式 (9月発注) 管理・運営に関する協議会の開催 3回 (4月～3月)</p> <p>【安全性・利便性向上のための道路整備】 (1) 用地 N=9件、補償 N=9件 (4月～3月) (2) 工事発注 L=150m (4月～3月) (3) 用地 N=1件、補償N=1件 (4月～3月)</p> <p>【地域公共交通の利便性向上に向けた取り組み】 (1) 新運行システムの検討 (4月～3月)</p> <p>【資源循環型社会構築に向けた再資源化等の促進】 (1) 自治センターだより等による周知（4月～3月） (2) プラごみの未回収件数対前年度比5%削減（4月～3月）</p>	<p>【上田圏域と松本圏域の主要幹線道路等の整備促進】 (1) 荻窪工区一9月30日用地契約。虚空蔵工区一設計（線形）協議中。 平井B P一用地1件交渉中。(2) 用地1件交渉中。(3) 工事発注の協議中。 (4) コロナ禍の影響により業務に遅れがでている。現在意見交換会準備中。 (5) 9月上旬に委託契約済。</p> <p>【千曲川・依田川合流地点の河川環境整備】 (1) 設計業務に伴う河川占用協議中。</p> <p>【安全性・利便性向上のための道路整備】 (1) 用地 N=5件、補償 N=6件交渉中。 (2) 工事設計中。 (3) 用地交渉中。 (※ N=件数)</p> <p>【地域公共交通の利便性向上に向けた取り組み】 (1) 地域交通有識者と6月に現地・ニーズ調査を実施し調査データのとりまとめを行った。 現在調査結果をもとに、新運行システムの具体案を複数策定中。</p> <p>【資源循環型社会構築に向けた再資源化等の促進】 (1) ・適正なごみの分別について等の広報・丸子地域ゴミの出し方カレンダー全戸配布 ・悪質なごみ集積所に警告等掲示看板設置 5箇所 (2) プラごみ未回収件数 9月末現在 297件 前年度456件（前年同期比65.1%）</p>
2	<p>【地域の特性を活かした農業とワイン産業振興】 (1) キリングループとのワイン産業振興を軸にした地域活性化 ①ワイン産業化の戦略を描ける職員の育成・地域リーダー等の発掘、育成 ②上田プロジェクトチーム事務局運営 (2) 梔子ワイナリーと地域との共生 ①共同会議を随時開催し、ワイナリーを活かした地域活性化を推進 ②地元の農業・事業者等へ参加促進を働きかけ、併せて地域農産物のPRや地元事業者の活性化を図る (3) キリンCSVとタイアップし、若手農業者グループ「HEARTBEATまるこ」による地域活性化を支援 ①「HEARTBEATまるこ」と地元飲食店との連携による、イベント及びツーリズムの開催や運営の支援</p> <p>【国道254号バイパス建設に合わせた農業基盤整備】 (1) 県営 中山間総合整備事業（美の郷地区）の事業推進（荻窪を含む9工区）</p>	<p>【地域の特性を活かした農業とワイン産業振興】 (1) キリングループとのワイン産業振興を軸にした地域活性化 ①職員研修の実施（12回） ②隔月にチーム会議 3月に総会開催 (2) 梔子ワイナリーと地域との共生 ①連携した梔子マルシェへの市内・市外客の誘客増 ②地元参加延べ20団体（企業）</p> <p>(3) キリンCSVとタイアップし、若手農業者グループ「HEARTBEATまるこ」による地域活性化を支援 ①連携したツーリズムのツアーの企画実施 ②飲食店連携のワイン会の実施（年2回）</p> <p>【国道254号バイパス建設に合わせた農業基盤整備】 (1) 9工区の事業実施 工事N=4工区、用地N=5工区（4月～3月）</p>	<p>【地域の特性を活かした農業とワイン産業振興】 (1) ①・市内リーダーローカルプレーヤーの発掘を目的に8月に5名のパネリストを迎えてパネルディスカッションを開催。（74名 内オンライン46名参加） ・市職員のワイン産業理解の深化を目的に自主研修を行った。（6回） ② 6月に上田ワインプロジェクト総会を開催し事業計画・事業予算を審議を行った。 上田ワインプロジェクト会議及びコア会議を行い、進捗状況を確認。 (2) ① 10月のマンズワインとの共同イベントは、コロナ過から中止が決定となったが、梔子ワイナリー主催イベントは、アフターコロナを見据えた活動となった。 ② 春のマルシェは、緊急事態宣言地域の入場規制はあったが、約400名の参加と地元 出展8事業者参加があった。 (3) ① 11月末の農業体験型観光ツーリズムツアー開催に向け、会議に参加し助言や支援を行った。飲食店連携のワイン会については、コロナ過の感染予防含め再構築を図った。</p> <p>【国道254号バイパス建設に合わせた農業基盤整備】 (1) 順次、工事契約がされている。 用地買収予定工区については、境界立会いが実施され用地協議を準備中。</p>

重点目標	住民自治組織やパートナーシップによる参加と協働のまちづくり		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<p>【住民自治組織の運営基盤づくりに向けた連携・協働の取組み】</p> <p>(1) 丸子まちづくり会議との協働による事業の取り組み</p> <p>(2) 地区会議及び他組織との連携による事業の取り組み</p> <p>【市民協働による地域資源等を活用した事業の実施及び支援】</p> <p>(1) 丸子修学館高校・上田市商工会とのパートナーシップ協定に基づく連携した事業を検討、開催</p> <p>(2) 木曾義仲関連事業に係る支援</p> <p>【自治センター整備事業】</p> <p>(1) 自治センターのバリアフリー化に向けた取組み</p> <p>(2) 自治センターの設備改修工事に向けた取組み</p>	<p>【住民自治組織の運営基盤づくりに向けた連携・協働の取組み】</p> <p>(1) 連携した事業の実施と組織強化に関する支援</p> <p>(2) 合同による事業の実施や他組織と連携した事業の実施</p> <p>【市民協働による地域資源等を活用した事業の実施及び支援】</p> <p>(1) 産業フェスタ等の事業の検討と実施開催</p> <p>(2) 実行委員会等、協働による企画・運営・実施の支援</p> <p>【自治センター整備事業】</p> <p>(1) バリアフリー化実施設計の完成</p> <p>(2) 設備改修実施設計の完成</p>	<p>【住民自治組織の運営基盤づくりに向けた連携・協働の取組み】</p> <p>(1) まちづくり会議が行う丸子ファーストビルの商業スペース開放事業は、中学校美術部の作品展示、絵本の読み聞かせ、コーヒーサロン等の事業を実施。少人数の会議等市民が気軽に使える場所として活用。毎月開催されている理事会に出席し情報共有と組織強化を支援。</p> <p>(2) 6月23日に3地区会議合同で意見交換会を実施。</p> <p>【市民協働による地域資源等を活用した事業の実施及び支援】</p> <p>(1) 5月25日、3者で事業計画を協議。新型コロナの影響から、各事業が中止となったが「サテライト市長室」で丸子修学館高校のこれまでの活動を報告。</p> <p>(2) 信州丸子義仲祭りは来年度に延期。令和4年1月から放送される大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の木曾義仲登場に合わせた宣伝・イベント等を計画。</p> <p>【自治センター整備事業】</p> <p>(1) バリアフリー化実施設計のトイレ平面計画が概ね完成。実施設計業務完了を令和4年1月末に予定。</p> <p>(2) 設備改修実施設計（業務委託）は、事業財源の再検討中。</p>
重点目標	現代のライフスタイルにあった丸子温泉郷の振興		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	<p>【温泉を活かした地域活性化事業の推進】</p> <p>(1) コロナ禍における観光支援事業の推進</p> <p>(2) 現代のライフスタイルにあった温泉地を目指す「環境省」（新湯治プラン）の推進</p> <p>(3) 鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトマスタープランⅡに基づく取組みへの参画</p> <p>(4) 霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクトの取組みへの参画による丸子温泉郷の誘客の推進</p>	<p>【温泉を活かした地域活性化事業の推進】</p> <p>(1) 支援内容検討のうえ実施</p> <p>(2) 「健康と温泉に関するフォーラム」の継続実施</p> <p>(3) 「ポールを使ったウォーキングフェスタ」の継続実施</p> <p>(4) イベント参加者前年対比5%増</p>	<p>【温泉を活かした地域活性化事業の推進】</p> <p>(1) 鹿教湯・大塩・霊泉寺温泉の各観光協会から、観光誘客促進事業補助金についての要望を3地域計14回の会議に出席して取りまとめ、一部を除き交付申請事務を行った。</p> <p>(2) オンラインで関係者打合せを2回行い、令和4年2～3月ごろの開催に向け検討・調整中。</p> <p>(3) 「鹿教湯温泉しあわせポールdeアクティブウォーキングフェスタ」実行委員会に2回出席したがコロナ禍で中止となったため、代替イベントを10/1から実施する。</p> <p>(4) 2つのイベントが開催され計113名の参加となったが、コロナ感染拡大防止で参加定員を減らしたため前年比28.9%の減となった。クリーンフェスタは中止となった。</p>